

令和4年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会

12/1^{T H U} 15:00
〜
18:15
令和4年
静岡文化芸術大学 講堂
参加無料（入退場自由）

挨拶／横山 俊夫 学長

1

芸術文化学科

立入 正之 教授

「染色技法」の発達と「紋様デザイン」の展開

「染色技法」の発達ともなう、「紋様デザイン」の展開を、京都や仙台など染色紋様の原点となる地から、浜松と遠州でさらに多様化する経緯を軸に調査する。浜松市博物館、京都工芸繊維大学との研究連携も推進する。

2

国際文化学科

武田 淳 准教授

コーヒーの廃棄物を活用した新たなフェアトレード商品開発に関わる実践的研究

フェアトレードのトレンドは、貧困削減から環境保全へと広がりつつある。本研究は、コスタリカを対象に、コーヒーの生産過程で生じる廃棄物（果肉や果皮など）を活用した、新たな食の創造を目指す実践的研究である。

3

国際文化学科

西田 かほる 教授

地域資源としての古文書を考える-川根本町殿岡家文書の調査研究

川根本町の殿岡家が所蔵する古文書を調査し、目録を作成して史料の散逸を防ぐとともに、地域資源としての古文書の活用方法を探る。さらに地方名望家が担った「公」的な役割を解明し、地域社会に固有な歴史・生活・文化を考察する。

4

国際文化学科

二本松 康宏 教授

浜松市天竜区春野町における民間口承文芸(昔話)の採録調査

浜松市天竜区春野町において民間口承文化財(昔話)の採録調査を実施する。昔話は家庭と地域に語り継がれた心と記憶の文化遺産である。その採録と公開を通じて地域アイデンティティの再生と継承の一助を目指す。

5

デザイン学科

長嶋 洋一 教授

メディアデザインにおけるレイテンシとジッタの研究

メディアデザインにおける時間的アプローチとして、時間的遅延(レイテンシ)と時間的揺らぎ(ジッタ)という2つの事象について調査検討するとともに、新しいモデル/手法/システムの提案を目指す。

6

デザイン学科

亀井 暁子 教授

SUACによる建築・インテリア・都市・環境系プロジェクト研究

開学20年を機に、2000年から2019年度までに受託事業等により実践してきた建築・インテリア・都市・環境系プロジェクトの内容を総括・整理した。それらから事例を挙げ、学生の関わりや継続性の観点から紹介する。

講評／森 俊太 副学長

オンラインで配信予定

※視聴は大学HPのイベントページからお申し込みください

<https://www.suac.ac.jp/>



新型コロナウイルス感染症の状況により開催方法・会場を変更する可能性があります。最新の情報は上記イベントページをご確認ください。

| a | c | c | e | s | s |

〔徒歩〕JR浜松駅から徒歩15分

〔バス〕浜松駅バスターミナル

◆10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車

※駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。



〔主催〕静岡文化芸術大学

お問合せ

〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学企画室(担当/朝日)

[TEL] 053-457-6113 [E-mail] kikaku@suac.ac.jp

